

## 令和4年度実務経験のある教員等による授業科目シラバス



関西医療学園専門学校  
理学療法学科

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	<p>病理学</p> <p>[到達目標]            病因と病態、遺伝子異常と発生発達異常、細胞傷害、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について学ぶ。また、がんの定義、病期分類、病理診断についても学習する。これらにより、理学療法士として必要な病理学的知識の理解を目標とする。</p>	<p>1年 講義2単位 (60時間 <u>必修</u>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総論① (病理学の概要)</li> <li>2. " ② (病因論)</li> <li>3. " ③ (退行性病変)</li> <li>4. " ④ (代謝異常)</li> <li>5. " ⑤ (進行性病変)</li> <li>6. " ⑥ (循環障害)</li> <li>7. " ⑦ (免疫)</li> <li>8. " ⑧ (炎症・感染症)</li> <li>9. " ⑨ (腫瘍)</li> <li>10. " ⑩ (放射線障害)</li> <li>11. " ⑪ (老化①)</li> <li>12. " ⑫ ( " ②)</li> <li>13. " ⑬ (先天異常・奇形)</li> <li>14. 各論① (循環器①)</li> <li>15. " ② ( " ②)</li> <li>16. " ③ (呼吸器①)</li> <li>17. " ④ ( " ②)</li> <li>18. " ⑤ (消化器①)</li> <li>19. " ⑥ ( " ②)</li> <li>20. " ⑦ ( " ③)</li> <li>21. " ⑧ (神経系①)</li> <li>22. " ⑨ ( " ②)</li> <li>23. " ⑩ (運動器①)</li> <li>24. " ⑪ ( " ②)</li> <li>25. " ⑫ (泌尿器・生殖器)</li> <li>26. " ⑬ (内分泌臓器①)</li> <li>27. " ⑭ ( " ②)</li> <li>28. " ⑮ ( " ③)</li> <li>29. " ⑯ (造血器)</li> <li>30. " ⑰ (皮膚・感覚器)</li> </ol> <p>指定教科書 「標準理学療法学・作業療法学病理学」 (医学書院)</p> <p><u>成績評価</u> 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	<p>臨床医学総論</p> <p>[到達目標] 地域包括ケアシステムの構築が進められるなかで、理学療法士の業務は医療提供施設から在宅まで及び、他職種連携により共通する医学的な知識や技術が求められている。 本講義では、理学療法士として必須である疾病に関する知識、薬理の基礎やフィジカルアセスメントの方法を習得することを目標とする。</p>	<p>1年 講義2単位(60時間 <b>必修</b>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フィジカルアセスメント総論①</li> <li>2. " ②</li> <li>3. バイタルサイン①</li> <li>4. " ②</li> <li>5. " ③</li> <li>6. 頭頸部のアセスメント</li> <li>7. 呼吸器系のアセスメント①</li> <li>8. " ②</li> <li>9. " ③</li> <li>10. 循環器系のアセスメント①</li> <li>11. " ②</li> <li>12. " ③</li> <li>13. 腹部のアセスメント①</li> <li>14. " ②</li> <li>15. 乳房と腋窩のアセスメント</li> <li>16. 直腸・肛門・生殖器のアセスメント</li> <li>17. 脳・神経系のアセスメント①</li> <li>18. " ②</li> <li>19. " ③</li> <li>20. " ④</li> <li>21. " ⑤</li> <li>22. 筋・骨関節系のアセスメント①</li> <li>23. " ②</li> <li>24. " ③</li> <li>25. " ④</li> <li>26. 薬理の基礎①</li> <li>27. " ②</li> <li>28. " ③</li> <li>29. " ④</li> <li>30. " ⑤</li> </ol> <p>指定教科書 「誰も教えてくれないコツがある！ フィジカルアセスメント完全攻略 Book」(慧文社)</p> <p><b>成績評価</b> 前期レポート</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	<p>画像医学</p> <p>[到達目標] 画像情報から障害の原因となっている部位の初期状態、治療結果、治療効果などの客観的かつ視覚的情報を得ることで、障害との関連付けを行い、治療に反映させるため、医師による読影及び画像診断のプロセスを理解することを目的とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 内科医が自院（診療所）における患者の症例を画像及びスライドを用いて、臨床的に教授する。</p>	<p>1年 講義 1単位（30時間 <u>必修</u>）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総論</li> <li>2. 画像診断の基本</li> <li>3. 脳画像①</li> <li>4. " ②</li> <li>5. " ③</li> <li>6. 脊椎・脊髄画像①</li> <li>7. " ②</li> <li>8. 骨・関節画像①</li> <li>9. " ②</li> <li>10. 胸部画像①</li> <li>11. " ②</li> <li>12. " ③</li> <li>13. " ④</li> <li>14. 摂食嚥下①</li> <li>15. " ②</li> </ol> <p>指定教科書 「リハビリテーション医療に活かす画像のみかた」（南江堂）</p> <p><u>成績評価</u> 後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	<p>内科学</p> <p>[到達目標] 循環器、呼吸器、神経、内分泌・代謝、消化器、血液、感染、免疫・アレルギー・膠原病など内科学全般について学ぶとともに、X線・CT・MRI画像の診断のポイントについても学び、理学療法士として必要な内科学的知識の理解を目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 内科医が自院（診療所）における患者の症例を画像及びスライドを用いて、臨床的に教授する。</p>	<p>1年 講義2単位（60時間 <u>必修</u>）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内科学の概要</li> <li>2. 診断・治療①</li> <li>3. " ②</li> <li>4. 症候学①</li> <li>5. " ②</li> <li>6. " ③</li> <li>7. 循環器疾患①</li> <li>8. " ②</li> <li>9. 呼吸器疾患①</li> <li>10. " ②</li> <li>11. 消化管疾患①</li> <li>12. " ②</li> <li>13. 肝胆膵疾患①</li> <li>14. " ②</li> <li>15. 血液・造血器疾患①</li> <li>16. " ②</li> <li>17. 代謝性疾患①</li> <li>18. " ②</li> <li>19. 内分泌疾患①</li> <li>20. " ②</li> <li>21. 腎・泌尿器疾患①</li> <li>22. " ②</li> <li>23. 膠原病・アレルギー疾患①</li> <li>24. " ②</li> <li>25. 感染症疾患①</li> <li>26. " ②</li> <li>27. 中毒①</li> <li>28. " ②</li> <li>29. 皮膚疾患①</li> <li>30. " ②</li> </ol> <p>指定教科書 「標準理学療法学・作業療法学内科学」（医学書院）</p> <p><u>成績評価</u> 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	<p>整形外科学</p> <p>[到達目標] 運動器リハビリテーションに関連する骨、靭帯、筋肉・腱の軟部組織について、画像診断を中心とする診断方法と治療方法を学び、上肢、脊柱、下肢の部位別の整形外科的治療を理解することを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 整形外科医が自院（診療所）における患者の症例を画像及びスライドを用いて、臨床的に教授する。</p>	<p>1年 講義2単位（60時間 <u>必修</u>）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総論</li> <li>2. 診断</li> <li>3. 治療</li> <li>4. 疾患総論①（軟部組織・骨・関節の感染症）</li> <li>5. " ②（関節リウマチ）</li> <li>6. " ③（慢性関節疾患）</li> <li>7. " ④（四肢循環障害）</li> <li>8. " ⑤（先天性骨系統疾患）</li> <li>9. " ⑥（先天異常症候群）</li> <li>10. " ⑦（代謝性骨疾患）</li> <li>11. " ⑧（骨腫瘍）</li> <li>12. " ⑨（軟部損傷）</li> <li>13. " ⑩（神経・筋疾患）</li> <li>14. 疾患各論①（肩関節）</li> <li>15. " ②（肘関節）</li> <li>16. " ③（手関節・手）</li> <li>17. " ④（頸椎）</li> <li>18. " ⑤（胸郭）</li> <li>19. " ⑥（胸椎・腰椎）</li> <li>20. " ⑦（股関節）</li> <li>21. " ⑧（膝関節）</li> <li>22. " ⑨（足関節・足）</li> <li>23. 外傷学①（軟部組織損傷）</li> <li>24. " ②（骨折・脱臼）</li> <li>25. " ③（脊椎・脊髄損傷）</li> <li>26. " ④（末梢神経障害）</li> <li>27. スポーツ障害①（スポーツ外傷）</li> <li>28. " ②（障害者スポーツ）</li> <li>29. 運動器のリハビリテーション①</li> <li>30. " ②</li> </ol> <p>指定教科書 「標準整形外科学」（医学書院）</p> <p><u>成績評価</u> 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門 礎 分 野	保健医療福祉 とリハビリテーション	リハビリテーション医学 [到達目標] リハビリテーション 医学の理念及び歴史、 ならびにリハビリテー ションの対象となる疾 患についての医学的知 識及び診断とその治療 の方法を学び、代表的 疾患のリハビリテーシ ョンの概略を理解する ことを目標とする。	1年 講義 1単位 (30時間 <b>必修</b> ) 1. リハビリテーションの定義と歴史 2. 障害論 3. 評価・検査・治療 4. 疾病と外傷① (脳・脳卒中) 5. " ② (脊髄・脊髄損傷) 6. " ③ (関節・関節リウマチ) 7. " ④ (小児疾患) 8. " ⑤ (神経筋) 9. " ⑥ (末梢神経) 10. " ⑦ (外傷) 11. " ⑧ (脊椎) 12. " ⑨ (内部疾患) 13. " ⑩ (切断) 14. " ⑪ (高齢者) 15. " ⑫ (その他の疾患) 指定教科書 「標準整形外科学」 (医学書院) <b>成績評価</b> 前期レポート

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	骨関節疾患理学療法学 [到達目標] 整形外科講義の理解のうえに、理学療法を実施するリスク要因、クリティカルパスの理解及び機能改善に対応した理学療法プログラムを学習する。運動器障害における評価、基本的な運動療法手技と物理療法手技を安全に実践することができることを目標とする。  ☆実務経験教員担当科目 理学療法士が勤務先(病院・デイサービスセンター)における患者(利用者)の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨床的に教授する。	2年 講義4単位(120時間) <b>必修</b> 実習1単位(30時間) <b>必修</b>
			1. 骨折脱臼の運動療法①(頸椎・肋骨)
			2. " ②(鎖骨)
			3. " ③(上腕骨近位端骨折)
			4. " ④(上腕骨骨幹部骨折)
			5. " ⑤(上腕骨顆上骨折)
			6. " ⑥(上腕骨外顆骨折)
			7. " ⑦(腕骨内側上顆骨折)
			8. " ⑧(肘頭骨折)
			9. " ⑨(橈骨近位端骨折)
			10. " ⑩(前腕骨骨折)
			11. " ⑪(橈骨遠位端部骨折)
			12. " ⑫(手根骨・手指骨折)
			13. " ⑬(骨盤骨折)
			14. " ⑭(大腿骨頸部骨折)
			15. " ⑮(胸腰椎圧迫骨折)
			16. " ⑯(大腿骨骨幹部骨折)
			17. " ⑰(膝蓋骨骨折)
			18. " ⑱(脛骨近位端骨折)
			19. " ⑲(下腿果部骨折)
			20. " ⑳(距骨骨折)
			21. " ㉑(踵骨骨折)
			22. " ㉒(肩鎖関節脱臼)
			23. " ㉓(肩・肘・膝蓋骨脱臼)
			24. 疾患別理学療法①(斜頸)
			25. " ②(頸椎椎間板ヘルニア)
			26. " ③(後縦靭帯骨化症)
			27. " ④(脊柱側彎症)
			28. " ⑤(胸郭出口症候群)
			29. " ⑥(変形性脊椎症)
			30. " ⑦(五十肩)
			31. " ⑧(離断性骨軟骨炎)
			32. " ⑨(内反肘・外反肘)
			33. " ⑩(肘部管症候群)
			34. " ⑪(腱鞘炎)
			35. " ⑫(デュブイトレン拘縮)
			36. " ⑬(手根管症候群)
			37. " ⑭(変形性股関節症)
			38. " ⑮(大腿骨頭すべり症)
			39. " ⑯(ペルテス病)
			40. " ⑰(腰部椎間板ヘルニア)
			41. " ⑱(腰椎分離・すべり症)
			42. " ⑲(変形性膝関節症)
			43. " ㉑(オスグットシュラッター病)
			44. " ㉑(膝蓋軟骨軟化症)
			45. " ㉑(膝蓋腱炎・鷲足炎)
			46. " ㉑(腸脛靭帯炎)
			47. " ㉑(アキレス腱炎)
			48. " ㉑(反張膝・内外反膝)
			49. " ㉑(コンパートメント症候群)
			50. " ㉑(シンスプリント)
			51. " ㉑(疲労骨折・外脛骨)
			52. " ㉑(扁平足・外反母趾)
			53. 軟部組織損傷①(インピンジメント症候群)
			54. " ②(腱板断裂)
55. " ③(二腕二頭筋長頭腱断裂)			

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	骨関節疾患理学療法学	<p>56. 軟部組織損傷④(TFCC損傷)</p> <p>57. " ⑤(上腕骨外側上顆炎)</p> <p>58. " ⑥(手の腱損傷・槌指)</p> <p>59. " ⑦(大腿部の肉離れ)</p> <p>60. " ⑧(膝靭帯損傷・半月月板)</p> <p>61. " ⑨(アキレス腱断裂)</p> <p>62. 軟部組織損傷①(腓骨筋腱脱臼)</p> <p>63. " ②(足関節捻挫)</p> <p>64. " ③(足底筋膜炎)</p> <p>65. 末梢神経損傷①(橈骨神経麻痺)</p> <p>66. " ②(正中神経麻痺)</p> <p>67. " ③(尺骨神経麻痺)</p> <p>68. " ④(総腓骨神経麻痺)</p> <p>69. 末梢循環障害①(フォルクマン拘縮)</p> <p>70. " ②(キーンベック病)</p> <p>71. " ③(第1ケーラー(Kohler)病)</p> <p>72. " ④(閉塞性血栓血管炎)</p> <p>73. " ⑤(静脈血栓症)</p> <p>74. 関節リウマチ</p> <p>75. 熱傷</p> <p>指定教科書 「標準整形外科学」(医学書院) 「標準理学療法学 骨関節理学療法学」 (医学書院) 「運動器疾患の治療とリハビリテーション」(メジカルビュー) 「リハビリテーション医療に活かす 画像のみかた」(南江堂)</p> <p>成績評価 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	<p>脊髄損傷理学療法学</p> <p>[到達目標] 脊髄損傷の病態を理解し、損傷高位別の臨床像と理学療法評価及び運動療法について学び、特徴的な随伴症状と合併症などのリスク管理、ADL自立と社会復帰に向けた補装具の知識を養うことを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 理学療法士が勤務先（リハビリテーション病院）における患者の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨床的に教授する。</p>	<p>2年 講義 1単位（30時間 <u>必修</u>）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脊髄損傷の解剖</li> <li>2. 理学療法評価</li> <li>3. 肺理学療法①</li> <li>4. " ②</li> <li>5. 車椅子処方①（車椅子処方）</li> <li>6. " ②（車椅子練習）</li> <li>7. 治療指導①</li> <li>8. " ②</li> <li>9. 排尿・尿路障害①</li> <li>10. " ②</li> <li>11. 脊髄損傷と性機能</li> <li>12. 脊髄損傷とスポーツ</li> <li>13. 脊髄損傷と自動車運転</li> <li>14. 脊髄損傷者の実際①（特別介護施設見学）</li> <li>15. " ②（ " ）</li> </ol> <p>指定教科書 「脊髄損傷リハビリテーションマニュアル」（医学書院）</p> <p><u>成績評価</u> 後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	理学療法 治療学	<p>義肢装具学</p> <p>[到達目標] 各部位での切断に対応する義肢の種類と利点、四肢及び体幹の形態が残存している場合に用いる装具の種類と利点を学習することにより、機能構造障害に適應する義肢・装具の選定ができることを目標とする。</p> <p>☆実務経験教員担当科目 義肢装具士が開設する義肢装具製作所における義肢・装具の製作及び適合判定等についてスライドを用いて講義を行うとともに、装具加工の実習により臨床的に教授する。</p>	<p>2年 講義 1単位 (30時間 <u>必修</u>) 実習 1単位 (30時間 <u>必修</u>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歩行と義肢装具のバイオメカニクス</li> <li>2. 切断</li> <li>3. 義肢</li> <li>4. 下腿義足</li> <li>5. 大腿義足</li> <li>6. 股義足</li> <li>7. 膝義足</li> <li>8. サイム義足</li> <li>9. 足部部分義足</li> <li>10. 義手</li> <li>11. 切断者のリハビリテーション</li> <li>12. 装具</li> <li>13. 下肢装具① (片麻痺)</li> <li>14. " ② (対麻痺)</li> <li>15. 膝装具 (スポーツ障害)</li> <li>16. 小児装具① (股関節装具)</li> <li>17. " ② (二分脊椎)</li> <li>18. " ③ (筋萎縮症)</li> <li>19. 整形外科的治療装具</li> <li>20. 靴型装具・足装具</li> <li>21. 頸椎装具</li> <li>22. 側彎装具</li> <li>23. 腰背痛の装具</li> <li>24. 脳性麻痺の装具</li> <li>25. リウマチの装具</li> <li>26. 末梢神経損傷の装具</li> <li>27. 術前・術後の装具</li> <li>28. 頸髄損傷の上肢装具</li> <li>29. 義肢装具の材料学</li> <li>30. 義肢装具の制度</li> </ol> <p>指定教科書 「義肢装具学」 (医学書院) 「Work book the 2nd」 (関西医療学園専門学校)</p> <p><u>成績評価</u> 前・後期試験</p>

分野	教育内容	授業科目	授業項目
専門分野	地域理学療法学	地域理学療法学総論 [到達目標] 地域医療の成り立ち 及び施設間、職員間の連携の重要性を理解し、地域での暮らしを支えるために必要な基礎知識について学習する。これにより、地域医療を支える制度的環境や社会資源等のシステムを正しく理解し、そのなかにおいて活動する理学療法士の役割を理解することを目標とする。 ☆実務経験教員担当科目 理学療法士が勤務する病院・介護老人保健施設における患者（入所者）の症例及びこれに対する理学療法について、スライドを用いて臨的に教授する。	2年 講義2単位（60時間 <b>必修</b> ） 1. 地域理学療法学の概念 2. 地域リハビリテーションを支えるシステム 3. 地域理学療法学の展開①（対象者の捉え方） 4. " ②（介護認定とケアマネジメント①） 5. " ③（ " ②） 6. " ④（入所サービス①） 7. " ⑤（ " ②） 8. " ⑥（通所サービス①） 9. " ⑦（ " ②） 10. " ⑧（訪問サービス①） 11. " ⑨（ " ②） 12. " ⑩（介護予防①） 13. " ⑪（ " ②） 14. " ⑫（集団対応） 15. " ⑬（地域連携①） 16. " ⑭（ " ②） 17. " ⑮（他職種との連携） 18. " ⑯（施設の取組み①） 19. " ⑰（ " ②） 20. 生活環境の整備①（住宅改修①） 21. " ②（ " ②） 22. " ③（福祉用具①） 23. " ④（ " ②） 24. " ⑤（シーティング） 25. 社会保障制度①（年金保険） 26. " ②（医療保険①） 27. " ③（ " ②） 28. " ④（労働保険） 29. " ⑤（介護保険①） 30. " ⑥（ " ②）  指定教科書 「標準理学療法学 地域理学療法学」（医学書院） 「保健行政法学第12版」 （関西医療学園専門学校）  <b>成績評価</b> 前・後期試験